



奈良の大仏の見え方が変わる！～長登銅山からつながる1300年の歴史～

9月14日（月）、長登銅山文化交流館 館長の椿様をお迎えし、3年生が修学旅行に向けた事前学習を行いました。

講話のテーマは、山口県美祢市にある「長登銅山」と、修学旅行で訪れる奈良・東大寺の大仏とのつながりです。発掘調査や出土した木簡などを手掛かりに、長登で採掘された銅が奈良へ運ばれ、大仏造立を支えたことを教えていただきました。また、当時の銅の採掘や運搬、大仏を造る「鑄込み」などについても分かりやすく説明していただきました。

遠く離れた山口と奈良が、約1300年前からつながっていたこと、そして歴史に残る大事業が、各地の資源や技術、多くの人々の働きによって支えられていたことを知る機会となりました。

東大寺の大仏を前にしたとき、山口とのつながりに思いを巡らせることで、これまでとは違った景色が見えてくるかもしれません。今回の学びを、奈良・京都・大阪での新たな発見や問いにつなげてほしいと思います。

椿様、貴重なお話をありがとうございました。



全校合唱の練習がスタートしました



柳井中学校では、全校生徒が心と声を一つにして歌う「全校合唱」を伝統として大切に受け継いでいます。合唱を通して仲間との一体感を味わい、学年を超えたつながりを深めることをめざしています。

今年度の曲は「麦の唄」です。練習では、全校生徒がソプラノ、アルト、テノール、バスの各パートに分かれて集まり、合唱実行委員やパートリーダーの声かけを中心に、生徒主体で音程や歌い方を確かめています。上級生と下級生が共に学び合いながら、少しずつ美しい響きを創り上げています。

全校合唱は、10月24日（土）の文化祭と10月30日（金）の小中音楽会で披露する予定です。全校生徒で創り上げる「麦の唄」を、どうぞお楽しみに！



主体的・対話的で深い学びの充実に向けて ～研修職員会議～



本校では、教職員が組織的・計画的に互いの指導力を磨き、学校全体の教育力を高めるため、研修職員会議を定期的に行っています。

先日の研修では、生徒の考える力をどのように育てるかについて、模擬授業を通して学び合いました。資料から自分なりの考えをもち、対話や新たな情報をもとに考えを見直し、自分の言葉で表す過程を大切に授業づくりについて理解を深めました。

これは、本校の重点取組事項「学びのPre-STEAM化と個別化」につながります。Pre-STEAM化とは、各教科の知識や見方を結び付け、多面的に考える学びの土台づくりです。また、一人ひとりの理解や学び方に応じた支援についても考えました。

こうした教職員の学び合いを授業に生かし、生徒たちの「思いやる 気付く 考える 創造する」姿につなげていきます。

◆ みんなでつくる 安心・安全な学校生活 ◆

5連休を安全に過ごすために

明日から5連休です。自由な時間が増えるからこそ、自分で生活を整え、安全を考えて行動することが大切です。

柳井中学校では、**外出するときは行き先や帰宅時刻を必ず家の人に知らせ、午後6時までに帰宅すること、生徒同士の夜間外出・外泊をしないこと、ゲームセンターやカラオケボックスなどには保護者同伴の場合以外は出入りしないこと**を定めています。

「誰と、どこへ行き、何時に、どのように帰るのか」を伝えることは、単なる報告ではありません。帰宅が遅れたとき、家族が異変に気づき、皆さんを助けるための大切な情報になります。「友だちと一緒にだから大丈夫」とも限りません。途中で別行動になったり、帰る手段がなくなったりすることもあります。また、SNSやオンラインゲームで知り合った相手から誘い出され、子どもが犯罪に巻き込まれる事案も起きています。

生徒の皆さんは、行き先・一緒にいる人・帰宅時刻を家の人に伝え、午後6時までに帰宅してください。生徒同士で夜間に歩いたり、外泊したりせず、予定が変わったときは必ず家の人に連絡しましょう。SNSだけで知り合った人とは、決して会ってはいけません。

保護者の皆様には、同行する友人、訪問先、帰宅方法などを具体的に確認していただき、困ったときにお子様がすぐ相談できる関係づくりをお願いします。

ルールは、楽しみを奪うためのものではなく、命と安全を守るための約束です。一人一人が柳井中学校の生徒として自覚をもち、安全で充実した5連休を過ごしましょう。

